

財務状況把握の結果概要（簡略版）

（対象年度：令和5年度）

北海道財務局作

浦臼町

総合評価

債務償還能力

〔地方債等の債務の大きさと、その償還原資を確保する能力〕

資金繰り状況

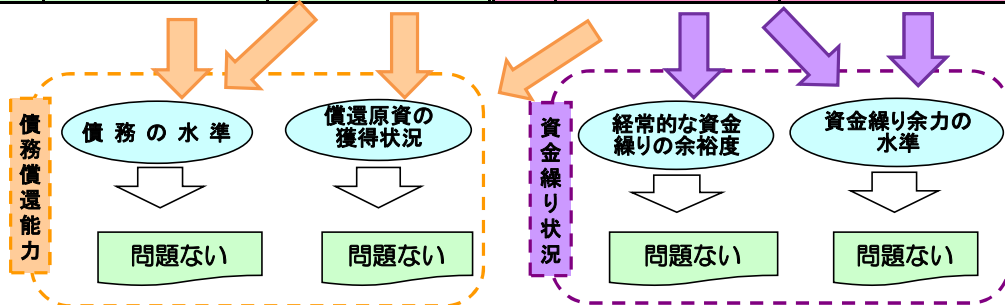
〔経常的な収支と積立金等の備えからの資金余裕状況〕

留意すべき状況にはないと考えられる

留意すべき状況にはないと考えられる

4つの財務指標結果

指標	① 実質債務月収倍率 （実質債務 行政経常収入÷12）	② 債務償還可能年数 （実質債務 行政経常収支）	指標	③ 行政経常収支率 （行政経常収支 行政経常収入）	④ 積立金等月収倍率 （積立金等 行政経常収入÷12）
	※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	※一年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標		※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
注意	24.0月		問題なし	20.6%	12.8月
やや注意			やや注意	10.0%	3.0月
問題なし	18.0月	15.0年	注意	0.0%	1.0月
	4.4月	1.7年			



今後の見通しと留意点等

【持続可能な財政運営に向けて】

貴町の令和5年度（診断対象年度）の財政状況は、債務償還能力、資金繰り状況共に留意すべき状況にはない。一方、類似団体と比較すると、4指標のうち実質債務月収倍率、積立金等月収倍率が劣位となっている。今後は地方債現在高が減少することを主な要因として、実質債務月収倍率は低下する見込みである。

他方、JR札幌線代替輸送等事業基金の取崩等により、積立金等月収倍率は低下する見込みである。公共交通の維持は地域住民の移動手段確保に直結し、人口流出を防ぐ上でも重要な取組であることから、当該基金の枯渇後も地域の存続に向けた財政負担が想定されることは将来の大きな課題である。

こうした中、貴町では農業振興による自主財源の確保等、収支改善や基金形成につながる取組を行っており、今後も「第3次浦臼町総合戦略」に掲げる各施策を着実に実行し、安定した財政運営が継続されることに期待したい。

【基幹産業の持続的な発展について】

基幹産業である農業において、農業産出額は増加傾向にある。特に主要産品である米は、需要の高まりを背景に堅調に推移している。

近年は、スマート農業の推進に向け、主に水稻農家を対象にスマート農業機械の助成や、農業機械メーカーとの協定による支援策を実施している。また、新たな特産品としてキングメルティーの生産振興を図っているほか、高収益作物として生産振興を図っているにんにくの助成事業や、和牛やジビエを含む農畜産物の加工にも注力している。これらの特産品は、今後整備予定の道の駅等で直接販売・飲食提供を行うほか、札幌圏や各地域のイベントにおいてPRを行うことで知名度向上を図り、農業での収益性を高めていくこととしている。

こうした基幹産業への支援は、就業者の所得向上や税収の増加、ひいては定住人口の確保につながることから、引き続き支援の継続及び農業・経済の活性化に期待したい。